



授業デザインミーティング実施

今年度2回目の全校縦割りでの授業デザインミーティングを行いました。今回は、未来へのスケッチの活用状況や児童生徒の思いや願いを基にどのような実践をしてきたのか、児童生徒の変容や授業評価、今後の見通し、授業内容の検討などについてそれぞれの縦割りグループで話合いました。今回は小1遊びの指導と高1生活単元学習についてお伝えします。

小学部1年 遊びの指導 取組の様子について

夏休みまでの取組

○体を動かす遊び（中庭・グラウンド・体育館・教室）

・シャボン玉、追いかっこ、凧揚げ、築山下り、ブランコ、大玉転がし、肋木、バランスボール、しっぽ取り、トランポリン、風船バレー、風船バドミントン等

○感触遊び（紙・小麦粉・片栗粉・スライム・水）

○ボウリング遊び

児童生徒の変容

○多目的室を使わずに、教室を中心にお互いの様子が見える範囲で遊ぶ。

→Aさんも一緒に空間にいることができた。（教室脱出が無くなった）

Aさん

①制作が好き！→制作の時間も取り入れたことで遊びの時間は短くなったが、本人の満足感はアップ。

②3人なら安心。プールにも入る。（合同では、みんなが遊んでいる時間になかなか入れないことも…）

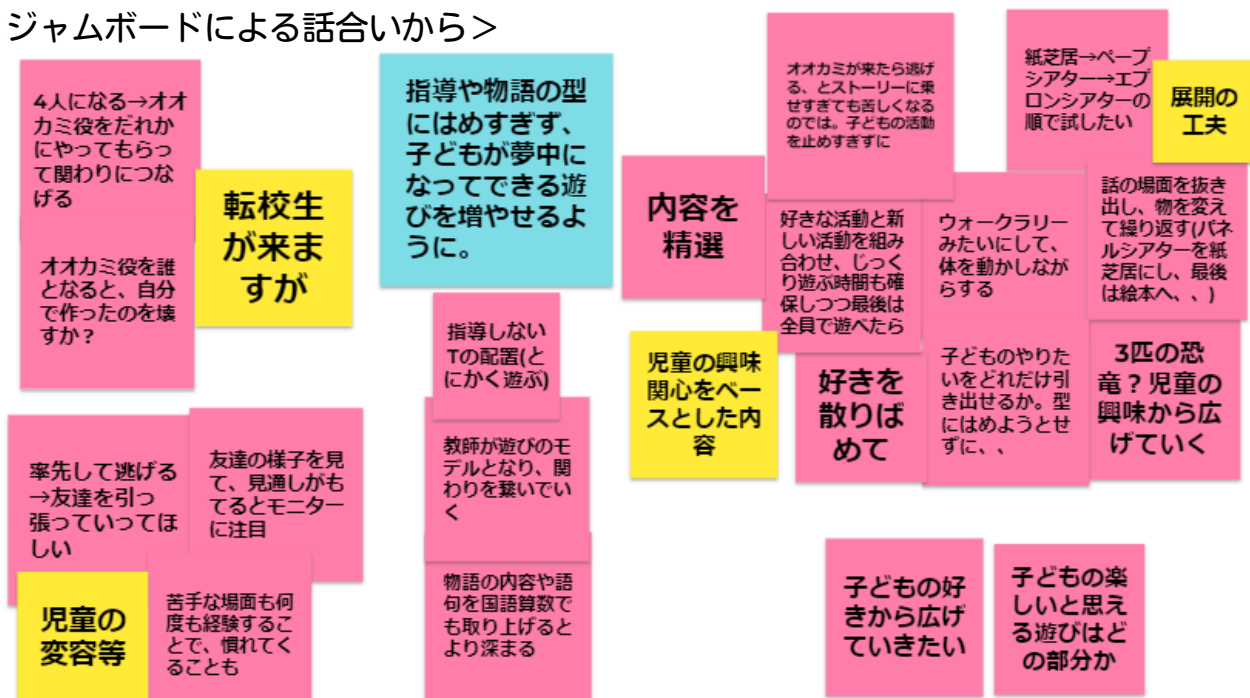
○ボウリング遊び…ピンを一人で製作→みんなで1つを制作→もっとシールを貼りたい！

友達に「シール下さい」「いいよ」のやりとり。

▲児童同士の自然なやり取りは難しい。Tを介して関わりを深める段階。Tは、児童をつなぐ役目を意識。

○教師を介して…BさんCさんのやりとりが増えた。AさんもBさんからのちょっかいを受け入れるようになった。

<ジャムボードによる話合いから>



授業に生かせそうなアイデアのまとめ

- ・子どもが夢中になって遊べるような場の設定を工夫したい。
- ・子どもの好きなことから興味・関心を広げられるようにしたい。
- ・新しい遊びや活動にも取り組めるよう、教師が遊びのモデルとなり遊ぶ。



夏休みまでの取組

○学年のルール決め

- ・①1年後どんな自分になりたいか（理想の自分）②どんな学年にしたいかの2点を学年全体で話題にし、それを基に学年のルールを決める時間を設定した。自分で意見を出すことが難しい生徒も、友達の意見を聞いて共感する様子が見られた。

○「お役に立ち隊」・・・水遊びグッズの製作→小1にプレゼント

- ・小1からの依頼を受け、水遊びで使う手作りおもちゃをプレゼントした。小1が安全に楽しく遊べるおもちゃを自分たちで考え、小グループに分かれて作成した。直接おもちゃを手渡し、小1児童の反応や喜ぶ様子を見ることができた。

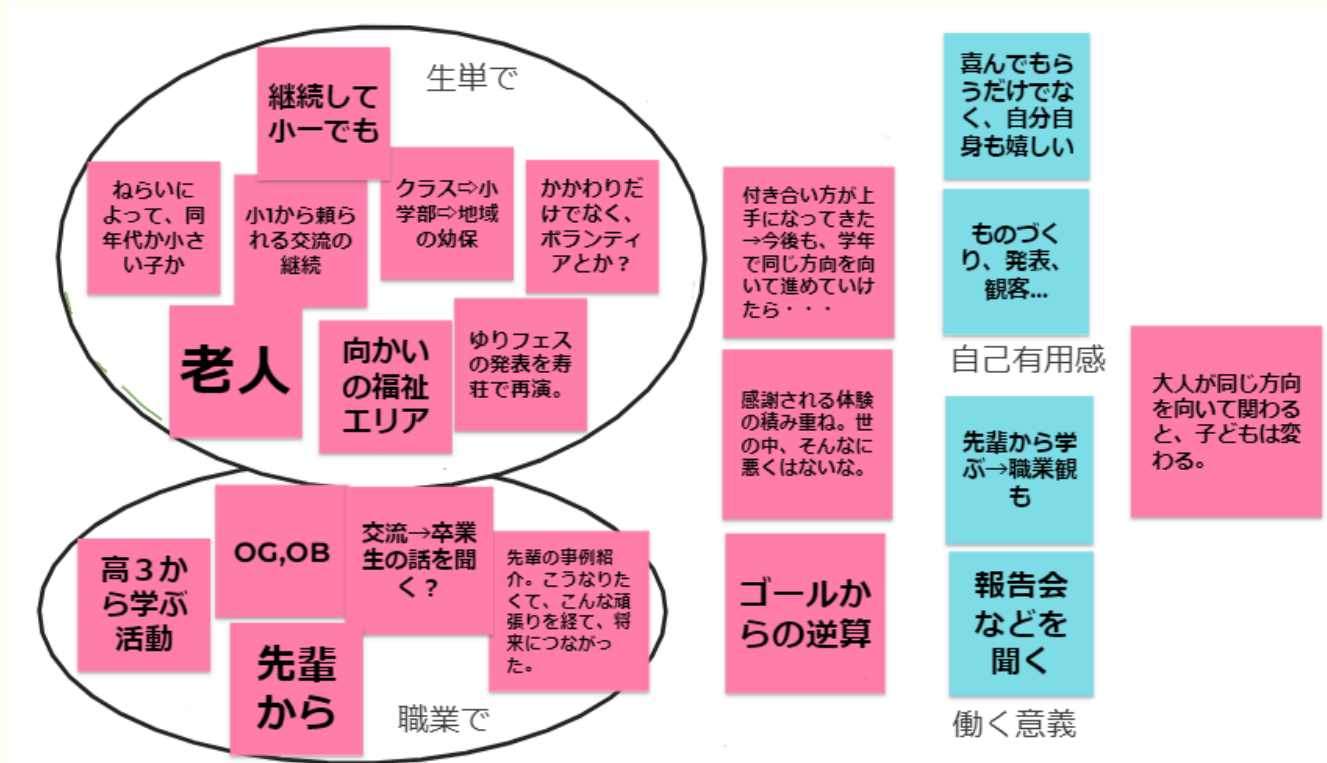
○学年レクリエーション

- ・内容：ボッチャ、カラオケ（生徒の希望を受けて）

児童生徒の変容

- ・自分たちで決めた目標を意識して行動する生徒が増えた。
- ・「誰かの役に立つ」「他者のために何かをしてあげる」は生徒たちの動機付けになる。

＜ジャムボードによる話し合いから＞



授業に生かせそうなアイデアのまとめ

- ・生活単元学習と職業科の授業をうまく組み合わせながら進める。
- ・他学部との関わりから地域への関わりにつなげていきたい。
- ・自己有用感を高めることができるように相手が喜んでもらう経験を積み重ねる。
- ・働く意義について考えることができるように先輩から話を聞いたり、報告会に参加したりする。

